



Sijun No. 18

昭和51年度同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒 業 年 組	電 話
会 長	渡 辺 剛 彰	20 - A	811-7704
副 会 長	西 岡 弘	20 - C	811-6311
"	荒 木 ラン子	42 - F	0467-22-7372
会 計	太 田 敏 夫	26 - A	0484-64-3983
会 計 監 査	高 橋 努	26 - C	911-9680
"	飯 島 今朝則	41 - F	917-5780
総 務	藤 沼 幸 男	48 - C	918-6071
名 簿	田 中 伸 一	51 - D	930-7122
会 報	山 下 祐 嗣	48 - B	915-2915
ダ ン ス	鈴 木 武 臣	49 - F	916-0643

目 次

トピックス……………	1
僕は「津坂まさあき」になりたい……………	2
市三会……………	5
十字路……………	6
文京いまむかし……………	8
クラブ活動現状報告……………	10
ダンス部からのお知らせ……………	12
会計報告……………	15
卒業生進路……………	16
表紙のことば・退職された先生……………	

佐藤幹夫氏 (2期) 学士院賞を受賞!

日本学士院(和達清夫院長)は十二日の総会で、五十一年度学士院賞の受賞者九人を決めた。受賞は国立音楽大の金子晴勇教授、東大東洋文化研究所の鎌田茂雄教授、京大数理解析研究所の佐藤幹夫教授らで、このうち国立がんセンター研究所の杉村隆所長には恩賜賞も併せて贈られる。今回の受賞者の顔ぶれは医学、宗教思想史、数学、生物学、金属材料学など広い分野にわたっており、受賞者はいずれも、永い年月、コツコツと積み上げてきた業績が評価されている。

授賞式は六月上旬、天皇陛下をお迎えして東京・上野の学士院会館で行われ、学士院賞には賞金五十万円と賞杯が贈られる。また恩賜賞には、ほかに陛下からの記念品も贈られる。

(中略)

▽佐藤幹夫(さとう・みきお)京大数理解析研究所教授、京都市左京区上高野大塚町四、中川方(本籍・東京都文京区)四十七歳Ⅱ「超函数の理論およびその応用」

(後略)

五一・三・三一付 東京新聞より

上記のとおり二期の佐藤幹夫氏に、五十一年度学士院賞が授賞されました。同窓生代表として心よりお喜び申し上げます。

尚、授賞式は六月七日午前十時から、東京上野の日本学士院で、天皇陛下をお迎えして行われました。授賞者は、それぞれの業績について、天皇陛下の前で説明したあと、和達学士院長から賞状などを贈られました。



長谷川次郎
先生御逝去

先生は昨年末から闘病生活に入られておられました。五十一年十月十三日、三楽病院で御他界なされました。慎んで御冥福を御祈り申し上げます。

(御遺族住所) 千三五〇一〇二 埼玉県坂戸市西坂戸二一四一二、東上線「川角駅」下車。
城西大学裏 角栄団地内電話〇四九二一八六一九七九四

第2弾



「津坂まさあき」に

なりたい

ヒューマン文庫シリーズ

〈本名〉津坂匡章。昭和十八年二月十四日生、三十六年文京卒。当時の担任は井手教諭。日大法学部中退、俳優座養成所を経て俳優座へ。現在はフリー。主な代表作としては、「今年之恋」「おやじ太鼓」「俺たちの旅」「オセロ」「ピピン」「屋根の上のバイオリン弾き」など。

前回の好評に気をよくしたヒューマンシリーズ、今回は、今や舞台上にテレビに大活躍中の、津坂まさあきさんに直撃インタビューしてみました。

当日、記者たち三名は、気むづかしい方と聞いていたので、ビクビクの思いで待っていました。ところが現れた津坂さんは、あの「グズ六」そのままに、お忙しい中、ナント三時間もインタビューに答えてくれたのです。

気さくなふんい気の中にも、自分の生き方に対する厳しい姿勢が感じられて、とてもステキな方でした。みなさんに全部御紹介できないのがとても残念ですが、以下は、そのインタビューの模様をまとめたものです。

Q 文京高校時代、クラブは何をなさっていましたか？

A 剣道部にいたよ。まあ、あんまり、熱心

な剣道部員でもなかったけどネ。

Q じゃあ、当時演劇には興味はなかったんですか？

A ないわけじゃなかったと思うのね、けど、まさか自分が役者になるなんて思ってもみなかったし、ましてクラブ活動で演劇やるなんて、なにかめめしいような感じがあつてネ。気取ってるのかな。

Q 当時の文京高校の印象は？

A うん、たいした印象はないんだなあ。だから、僕はもう三十も過ぎたけどね、あの学校に限らず、学校時代っていうのは何か「ブルー」の印象があるんだなあ。

そう、解放された世界ではないな。

Q 高校生津坂匡章はどんな生徒でした？

A 自分じゃ、いくじのない生徒だったっていう気がする。全般にあの学校の生徒つ

ていうのは、「いくじがない」って印象があるんだな。それは無理もないんだけどね。やっぱり今の学校制度がまちがってるんだよ。絶対そういう気がする。それは、いたころよりも出てからの方がひしひしと感じるにちがいないんだ。僕らのような仕事についていまい。まだまだそれは少ないかも知れない。それでもついてまわる。おそらく一生ついてまわるわけだから。当時入ってて、どこの

大学選んだりって時はあまり大した意識がなくても、結果的にいろいろついてまわるんだ。それが悔しいことだね。

まあ、文京の生徒ってのは—今は知りませんが—僕らのころは、中途半端もいいところだね。勉強も中途半端、遊びも中途半端って感じて……

Q 高校時代の思い出は？
特になんか空気の思ひ出は？

なんか空白の期間だったっていう気がするんだ。僕にとってはね。個人的なものだけどね。まあ、中学ぐらいまではなんとなく無邪気なところがあるでしょ。それが高校生ぐらいになってくると、意識みたいなのが出てきて、その自意識でがんじがらめだったんだな。で、勉強なんか、机の前に座ってぼーっと連うことを考えたとか……。あまり成績のいい生徒じゃなかった。うん、なんとも言えず、憂うつな印象があるんだな。学校出てから、この世界に入ってからだね、ハツラツとしはじめたのは。だから、僕の高校時代の友達っていうのは、僕がまさかこういう仕事をやるとは誰も思っけなかつたね。今でもみんなびっくりして、信じられないって。むしろ中学時代の友達は、そういう要素があつたって言って笑うけどね。だから、それだけ中学と高校では、ガラッと変わったんだと思うよ。なぜなんだろうね。僕は一言で言

Q 受験の時の思ひ出話を……
ええ、自意識だと思っただけどね。

大学には、行く気なかつたんだけど、個人的な事情ができて、食わなきゃいけないなつたんだ。それで、非常に悔しい思ひ出なんだけど、バカなことしたなつて思っただけど、防衛大学を受けようと思つたんだ。なぜ受けようと思つたかという、月々、当時で三千円の金くれるんだ。衣服も安く買えてね。それで、とにかくあそこに行きや、親元離れて、勉強もできていいんじゃないか。ぐらいいい気持ちだつたんだね。ところが、あそこは受験課目が九課目か十課目あるんだ。しょうがない、シヤカリキでやつたよ。で、すべつたよ、僕は。同時にね、操縦学校つてのを受けたんだ。それはパイロットの学校でね、やつぱり九課目か十課目あるんだ。でも、そつちは受かつたんだけど。全部試験に受かつて最後に身体検査だけで、それは横須賀の自衛隊の基地でやるんだけどね。それはもう、行けばほとんど受かるんだ。ところが、

Q 舞台、映画、テレビの中ではどれが一番好きですか？
なせか、僕はその朝になってやめたんだなあ。今でもわからない。結局、無意識のうちに、自分の進むべき道じゃないって気があつたんだと思っただ。試験に受ければいいつてもんじゃないんだなあ、そうなつてくると。ことほどさように迷つてばかりいたなあ、ほんとに迷いの多い時期だつたよ。

Q 舞台、映画、テレビの中ではどれが一番好きですか？

A みんな好きだよ。ただ方法が違うだけ、方法に慣れればみんな同じ。楷書で書くか、草書で書くかの違いみたいなもので、ただ、時代にはよるわね。時代が悪くなつてくるとね、その、所詮金も、うけでやつてることが多いからね。必ず裏で金もつけける奴がいるから、時代が悪くなつてくると、舞台がいいね。結局又スポンサーがかいかい口きいて、作品に注文をつけてくる。そういう時は舞台の方が面白いね。ところが、舞台ばかりやつても、僕らは同時代のもので、多くの人の目にふれなきや、アウトみたいところ

があつて舞台ばかりでもかたよつちやう。今、一番ダメなのは映画だと思ふ。日本の大手のいわゆる邦画だね。アレはもうメタメタね。会社がダメなんだよ、作る体制側がダメなんだよ。ダメなくせに古き良き時代の夢を見てるんだ。「スターシステム」とかね。あれは、頼まれてもでたくないって感じだね。

A Q

どんな俳優さんになりたいですか？

「津坂まさあき」になりたいね。つまり、まあ学校でいろんな事おそわるでしょ。それで社会に出て、教わつた事で理解しようとしても通じないことが多いんだよね。何て言うか、自分の考えというか、自分の発見したことでもつて行く方が、かなりいいんだよね。僕らの道でいけばまあ二十歳で劇団に入るでしょ。おそわることはつかりなんだ。ああやれこうやれつて。芝居つていうのは、おそわるもんだとはかり思つてゐるわけだ。先輩はうまくて、後輩はへただとか、新劇の役者の方が映画の役者よりも、うまいとか偉いとか、そんなことばつかりおそわる

んだ。つまらない、固定観念なんだよね。昔から世の中を動かしてきた、エポック・メイキングな事をやつた人つていうのね、かなりオリジナルな発想をするわけだ。誰の物でもない、自分自身の発想をするわけだ。剣道なんかでもね、何々流の流派を創つた人は偉いんだな。その後お弟子さんができるでしょ。一番弟子、二番弟子とかさ。何々流二代目、三代目とかさ。これはただもう守つているだけで何もないんだ。古典芸能の伝承みたいなもんで、その世界だけではいいんだよ。免許皆伝のものがあつて、それを教えてりや自分のメシのたねになるわけだから。ところが、宮本武蔵みたいのが出てくると一発でやられるわけだよ。それは流派とは違うよ、「そんな切り方あるか」たつて話にならんわけだよ。世の中出たら途端にそうなるわけだよ。そういう剣術道場のお弟子さんみたいな気風つてのがまだあるんだな、今の日本社会の中に。その方がやり易いんだよ、国全体としてみりやね。みんな宮本武蔵みたいになつ



国際放映にて

たらややくしくなるからね。そういうとこすくあるよ。だから、どういう役者になりたいかって言つたら、やっぱり「津坂まさあき」になりたいんだなあ。（尚、津坂まさあきさんは、十月から、新番組の出演を契機に、「秋野太作」と改名されました。）

市三会を御存知ですか？

同窓の皆さん、市三会を御存知ですか？

今回は市三会について、市三会々長の未ささんと、副会長の栗原さんにお話を伺いました。

○市三会とは：

文京高校の同窓の人なら誰でも会員になる

ことができます。その会員とお世話になった諸先生との親睦の集りで卒業の期・クラスを問わず、一定の日時に集まりたい人が自由に集まり、気楽に話し合える場です。（一応、現在は十期位までの人たちが中心となっています。）

○市三会を作った動機は：

今まであまり顧みられなかった、母校に対する同窓のつながりや働きかけを持ちたい、同窓愛・師弟愛などを、後輩に受け継いでいきたい、という気持ちから、この会を作ることになりました。



○市三会の精神：

学校時代を懐しむと同時に、卒業後、社会人として歩んできたそれぞれの人生航路の再確認をし、今後の生活を支えるよりどころとする。

互いの人格を尊重すると共に、社会の各分野で活躍している同窓の実態を知り、現在の職業・地位に関係なく、互いに同じ学校に学んだ者同志として、啓蒙しあい、何かの時に相談し協力しあう。

互いの視野を広め、人間の幅をひろげる。

○市三会の活動：

市三会の活動としては、具体的に次のようなことが行われています。

・ 毎月十三日に会を設ける

（既に22回の会合を開いている）

・ 同窓生や諸先生の講演や、同窓の画家などの個展に協力。

どの個展に協力。

（最近では森田先生の個展等に協力）

・ 母校の催しものに協力

（昨年、文京祭に出品など）

・ 会員の消息・連絡

（年に3・4回の会報の発行）

・ 恩師を囲む会

（最近では五月十三日、渋谷東武ホテルで、「奥園先生を囲む市立三中の会」を開催。

恩師9人参加）

・ 旅行会（年に一回以上行っている）

・ その他

（最近では校長室の応接セットを寄贈）

○今後の希望としては、このようなことを若い世代の同窓生と交流を持つことによつて、だいに引き継いでいきたいということです。（例えば、一期・十一期・二十一期の合同同窓会等の計画。同窓の資料館の建設と失われつつある資料の収集と保存等）

お話を伺って、私たちが普段忘れかけている同窓愛・師弟愛・母校愛の素晴らしさを感じ、何か大切なものを見つけたような気がしました。これからは、文京高校の同窓としての自覚と誇りを持ち、小さなつながりでも大切に育てていきたいと思えます。

参考までに、私たちの母校、都立文京高校の前身は、旧制の第三東京市立中学校という名前で創立されました。

尚、市三会についてのお問い合わせは、

TEL 八一―〇七五五

旧制一期B 末正明さんまで。



純一無雜



橋本 喜典

市立三中時代の四年間、ぼくらの担任であられた河野孝光先生は、敗戦の翌年の七月、忽然として他界されました。ぼくは、この世で河野先生に出会ったということ、ぼくの人生にとつての重大事であつたと思つています。のちに職業を選ぶとき、ためらうことなく教育の仕事を選んだのも、また、国文学の勉強をつづけ、或いは短歌を作りつづけてきたのも、中学時代に河野先生の教えを受けたことが基になつていたのでと思います。この出会いの意味は年を経るにしたがつて、ぼくの内側に深まつていくのを感じています。戦争中、ぼくらの受けた教育は、まさに実践教育でした。あのような時代のことですから、その実践教育の目的について考えれば、

ぼくは今なおこだわるものを捨てられません。ただ、あのような時代の教育の中にあつても、その実践を通して、少年の心に、きらきらと輝くような何かを植えつけてくださった幾人かの先生方を、ぼくはたぶん生涯忘れることはないでしょう。

そろそろ空襲の激しくなりはじめた頃から、ぼくは一冊の大学ノートをいつも離さずにかけていました。そこには色々な思いが色々な形で書きこまれていましたが、いま思えば、要するに「いかに死ぬか」を自分に言い聞かせるための覚悟のノートであつたようです。昭和二十年六月、動員さきの板橋志村の東洋マグネシウムという工場で、いよいよ先生方や友達と別れるとき、ぼくはそのノートに、幾人かの友達に記念のことを書いて貰いました。へ戦災の地にもさくららの香のかほる焼あとのろじの花の美しさ 明るく美しく勝

ちぬい³³ = 725574987」と書いてく
れたのは、後年、都立大教授・理博で世界的
な物理学者としてすぐれた業績を遺した山本
三三三^{みよぞう}君です（彼は一昨年の春、二日と病む
ことなく亡くなってしまいました。また当時
ぼくなどの知らなかった五言絶句を書いてく
れた友達もいました。それを読んだ時の軽い
衝撃を、ぼくは今でもまざまざと思いおこす
ことができます。ぼくの尊敬していた山川喜
久男先生（現一橋大教授）は伸びやかな字で、
「純一無雜」と書いてくださいました。一か
月半後に戦争が終るなどとは、夢にも思ってい
なかつた頃のことです。

（二期E 早稲田高校教務）

醜女のはなし

荒木ラン子

たとえ前世の業因によって醜貌に生まれた
としても、仏の慈悲法力で美貌に転ぜられる
ならこんなうまい話はあるまい。このような
現世利益を題材とした興味ある話が「醜女縁

起」である。そもそも「醜女縁起」は漢訳蔵

経を原典として、民衆教化をはかるために語
られた一種の紙芝居で、日本にも四天王寺の
蔵有に帰す画幅にこの説話が伝えられている。

前世の悪口因縁によって手のほどこしよ
もない醜貌の女性が供養することで仏の慈悲
法力を得、絶世の美女に変身できるというモ
チーフはまさしく民衆の願望の表徴であり、
民衆の現世利益の欲望への迎合にはかならな
い。醜女のかたちが醜ければ醜いほど、民衆
に対する仏への絶対帰依をはたらきかける効
果がいや増す。その醜貌は、「雙脚腿頭敷又僻、
髮如驢尾一枝花。」上脣半斤有餘、鼻孔竹筒渾
小」といった具合で、やつとみつけた婿候補
も、醜女の意外の醜貌に魂もけしとぶ心地で
その場に気絶してしまうというスサマジサ。
醜貌ゆえにその人間性まで否定された醜女の
悲嘆がクローズアップされ強調せられて民衆
の関心と同情をひきつけたのであろう。

同じ醜女を素材にしながらも例えばはシヤル
ル・プルニエの「醜女の手記」では幸福への

パスポートであるべき整形美容手術がかえつ

て悲劇的結末をもたらすとし、「容貌のもつ
魂」を重視している。文芸的配慮からすれば

プリニエの所謂容貌の美そのものより、むし
ろ（容貌のもつ魂）をとりあげるべきであつ
たらう。仏教教化を意図するならなおのこと
外面的美貌にこだわることなく内面的充実に
説くことが、宗教的役割を果す事にならう。

しかし「醜女縁起」の作者はあえて通俗趣味
的な観念で物語を構成していった。すなわち
仏の慈悲法力の可能性・偉大性を鼓吹する意
図はあつたにしても、あくまでも抑圧された
民衆側の論理として、人並みはずれた醜貌の
姫君の話は通俗的好奇心をくすぐり、自らを
慰める「願望の補償」である事を作者は察知
していたからである。

（十九期F）



文京・いまむかし

十年一昔といいますが、昭和の初期に現在の都立文京の母校である市立三中が誕生して幾十年。時代変われば世相も変わり、そこに生きる人々も又様々な生き方をしてきました。

私達編集者が、市三会（初期文京）のことや津坂まさあきさん（学園紛争前の中期文京）の取材にあたり、私達（現在の文京）とこんなところが違ってたんだナア、こういう所は今も変わっていないんだナア、と思えた点も数多くありました。

そこで、いろいろな時代に生きてきた人達の様々な考え方をみなさんに紹介する意味で取材原稿をもとにして、空想座談会風に合わせてみました。

司会者 「まず、先生、について一言お願いします。」

「師の影を踏まず」（市三会）

「何が楽しみで生きているのかって聞いてみたいよ」（13期男）

「我々のころは常に恩師が先頭にたつて指導してくださいましたからね」（市三会）

「戦争前は絶対服従だったしね」（一期男）

「皆さんには考えられないことでし

司会者

ようけど、我々の時代はもちろん全部の先生ではありませんが、いつも友達同志のように気軽に話しあえて感じてなんです」（編集者）

「僕は、あまりつきあいがなかったな」（二十四期男）

「友達についてはどうでしたか」「中学の友達とは又違った意味で良いと思う。自分自身がそれぞれわかってくる年代だから、一生の友達になると思う……」（二十四期男）

「やはり数は少なくなってきたけど今でもみんな仲良くつきあっていますね」（六期男）

「喜びも悲しみもわけあうって感じで三十年たった今でも絆はかたいですな」（市三会）

司会者

「そこらへんも、市三会」を作った動機にもつながるわけですね。ところで、クラブなども友達作りに大きく役立っていると思うんですけれど」

「一、二年の時に自治会が無かったからみんなの努力でやりました」（二十六期男）

「先輩とか後輩のつきあいによって

自分の人間性を豊かにするものだと思います。みんな一つになって同じ目的にむかって進んでいったチームワークの大切さが、卒業後しみじみわかりました」（編集者A）

「遊び場がなかったせいかクラブは活発でした」（市三会）

「強制的に入れさせられたが、今になつてみると楽しいことばかり思い出されますね」（二期男）

「私達の年代はクラブに入る人も少なくなつていくよううで、やっぱり寂しい気がします」（編集者）

「自分では、高校生活イコール、クラブだったような気がする。一生懸命やったので後悔はしていない。クラブというのは勉強の次ぐらいに大事だと思うんだ」（二十四期男）

「本当にそうですネ。勉強のことが少し出ましたけど、特に受験勉強についてみなさんはどうでしたか。あるいはどうお考えになつていますか」

司会者

「僕は、終戦後すぐだったから、今の人達とは違い学問に対するあこがれみたいなものがあつて、とにかくしゃにむに一生懸命やったヨ」（一期男）

「よりよく生きるためには、よりよく知ってる方がいい。それが本来の勉強だけだと、その点今の教育制度はまちがってると思うネ」

「それについては、わたしたちほとんどの人がわりきっているんだと思いますね。わりきるといふか、受験は受験、高校生活は高校生活というように、だから浪人しても当然みたいですよネ……」(編集者)

「当時はのんびりしてたから、今みたいに受験なんてことはなかったワ」(十一期女)

司会者

「普通にやってみて体をこわさない程度にやればいいと思う。やらなくて済めば一番いいけど」(十七期男)

司会者

「現代では、誇りとか抵抗というものは違った、一つのファッションとしてとらえているのかもしれない」(編集者)

「私には制服がなかったんですが」

「制服には誇りをもってたナア。途中から(戦争のため)作業服みたいなものにかわってガツカリ……」(市三会)

「そう、あの当時は着るものがあればいいって感じで。ただ帽子の三本線には誇りがありましたヨ」(二期男)

司会者

「『至誠一貫』とは?」

「制服は好きじゃない。学校で強制されたものはイヤだ。あまり開放的になっちゃ困ると思うけど……」(十七期男)

司会者

「『誠をとおして物事を行い、結果がどうであろうと屈しない、とにかくとことん誠を貫く、ってことですかネ』(二期男)

「むずかしくは言えません。丸井の

司会者

「『愛校心』なんていう言葉は、面とむかっって言われると、なんかテレちやうよふな感じがあります」(編集者)

「卒業したばかりじゃ、確かにわからないかもしれない」

司会者

「『でみて(卒業して)初めてわかった。友達なんかと一緒にいると』(二十六期男)

「僕達なんかには言わせると、『誰よりも文京を愛す』ってところかな」(市三会A)

司会者

「『愛校心』なんていう言葉は、面とむかっって言われると、なんかテレちやうよふな感じがあります」(編集者)

「卒業したばかりじゃ、確かにわからないかもしれない」

司会者

「『でみて(卒業して)初めてわかった。友達なんかと一緒にいると』(二十六期男)

「『愛校心』なんていう言葉は、面とむかっって言われると、なんかテレちやうよふな感じがあります」(編集者)

司会者

「『愛校心』なんていう言葉は、面とむかっって言われると、なんかテレちやうよふな感じがあります」(編集者)

「『でみて(卒業して)初めてわかった。友達なんかと一緒にいると』(二十六期男)

司会者

「僕達なんかには言わせると、『誰よりも文京を愛す』ってところかな」(市三会A)

「『愛校心』なんていう言葉は、面とむかっって言われると、なんかテレちやうよふな感じがあります」(編集者)

司会者

「『でみて(卒業して)初めてわかった。友達なんかと一緒にいると』(二十六期男)

「僕達なんかには言わせると、『誰よりも文京を愛す』ってところかな」(市三会A)

頑張ってます！

クラブ活動

現状報告



野球部

部員24名。練習が始まると「全力」で走り・投げ・打つすべて「全力」で行い精神面を鍛え上げる。「練習は厳しいが、その中にも楽しさがあるし、この青春時代を何か一つにかけるとは、悪い事ではない。」以上を信念に、今日もまた、グラウンドに汗を流しています。

柔道部

部員15名。活動は週4日。皆柔道を愛し、柔道と共に生きる15人の侍。今日もまた、厳しい修業を積み、精神・肉体共に鍛えております。

体操部

今年の目標としては夏・秋期の新人戦に出場し、健闘することです。練習は、週に4日。みんなで新人戦を目標に、がんばっています。

山岳部

今年の夏山合宿は、 $\frac{2}{3}$ 、 $\frac{1}{6}$ 南アルプス塩見岳、農島岳縦歩です。台風接近により、前途不明……。

バスケット部

技術の向上と、自己の体力の限界にいくむ……!?ということを目標にして、広見先生の指導のもとで、みんなボールと取りくんでいます。

卓球部

今年是一年生も多数数入部し、活発な活動を続けています。でも、二年生が少ないのが残念です。二年生ががんばってクラブの運営をしていかねば、と思っっています。

サッカー部

我がサッカー部は、部員30人と糸洲先生そ

してOBが一九となって、8月末の大会に向
つて、雨の日も校舎内を走りまわっています。
ユニホームも、練習後は、ぞうきんのように
す。来年あたりは、全国高校選手権出場……
なんてね！

バトミントン部

僕達バトミントン部の一年生にとって、初
めの合宿が待ち受けています。まずは、へ
こたれずにがんばりたいと思います。OBが
練習を見に来てくれて、細かい所まで注意し
てくれるので大へん感謝しております。

陸上部

練習は、辛いけど、それ以外は楽しいので
す。見て下さい。皆笑い過ぎて、顔が變形し
ているでしょう。深沢・亀井先生の指導下で
毎日がんばっています。

なお、去る八月下旬、国体予選（東京）会
において磯辺君（2年在学）が見事400mで優
勝を成しとげ（タイム49・3）、10月中旬の本
大会（佐賀）に出場する権利を得ました。

バレー部（女子）

総員21名。精神面・技術面を向上し、勝つ

ことを目的として、泥まみれになって、白球
を追っています。バレーを愛する者の集まり
ですから、みんな弱音ははきません。いつも
声を出して、元氣一杯の練習をしています。

バレー部（男子）

部員17名。先生・OBが、技術面・精神面
その他色々な事を教えてくれます。私達の悩
みなども聞いてくれ、とっても良い人達ば
かりです。

テニス部

三時半、コートに集合。トレーニングの後、
乱打・ボレー・スマッシュ・サーブ・レシー
ブ等の練習をします。OBそしてOGが毎日
のように、練習を見てくれ、たいへん励みに
なっています。

水泳部

本格的な夏になり、我が水泳部も長い眠り
からさめ、真夏の日ざしに向つて、白い肌を
こがし、はりきっています。シーズンオフま
では試合も積み重なり、今年は、若いカエル
達に期待がかけられそうです。

剣道部

部員総数30名。せまい道場でいっしょにぶ
つかつたり、ころんだり、足を踏んだり……
そんな中で、部員一同元氣一杯にがんばつて



います。今後の剣道部に期待して下さい。

ブラスバンド部

今年に入って、卒業式・入学式の演奏、体育祭のパレード等を行い、現在のところは、%のコンクール、%・%の文化祭、それに%の第1回定期演奏会を目標に練習中です。

地歴部

恒例の夏の巡検は、「会津塗器」の調査を行いました。また、新聞の発行や「全都高校文化祭典」への出展など、小人数ですが、全員一丸となつてがんばっています。

舞踊部

四月に恒例の公演を行いました。そして、秋の文化祭・都大会での公演があります。この2つの公演を目標に、美人(?)の部員が一杯、体づくり・創作にはげんでいます。

華道部

地味で目立ちませんが、やりがいがあります。高校時代に一つの特技を身につけて、卒業していくなんて、すごく素敵だと思います。

生物部

共同研究は、年1回の合宿調査のみとし、他は、好きな者同士が集まって研究しています。また、自然とじかに接して、それを見て

考えるという事も近年重視しています。

家庭科部

週1回の活動で、特に文化祭前ということ、今学期は、あまり実習はできませんでしたが、あまり目立たないクラブではありませんが、部員21名、とにかく楽しく活動しております。

鉄道研究部

今、毎週2回程度の研究会を開いています。鉄研は現在、部員30名。鉄道に触れて、創造力豊かな人間になることを目標に、クラブ活動をつづけています。

レッツ・ダンス

―ダンス部からのお知らせ―

“社交ダンス”という言葉を知ると何か取付きにくい様な感覚を誰でも多分持っていると思います。というのは、ダンスという言葉そのものが、私たちの耳に別世界の印象を与

えているせいではないのでしょうか? しかし、実際には“社交ダンス”というのは、スキー・水泳・野球など日常私たちが親しんでいるスポーツの一種にすぎないと思

います。私たちは、高校を卒業しますと何かと運動不足になりがちであります。その点社交ダンスは、かなりの年齢の方にもまでも気軽にでき特にダンスパーティーなどは、とても



①楽しいダンスパーティー

日時 今春のダンス講習会

日時 五月八日・十五日・二十二日・二十九日

日の毎日曜日四回。午後一時より三時。

会場 浅野ダンススクール（池袋駅から徒歩

五分 TEL（九八二）八五二二

講師 浅野ダンススクール教授部

会費 三、〇〇〇円

内容 ◎A組（初級・初めての方）

(1)ルンバ・マンボ (2)ブルース

(3)ジルバ (4)ワルツ

◎B組（中級・少し踊れる方）

(1)キューバンルンバ・チャチャ

(2)タンゴ (3)ワルツ (4)ジャイブ

参加資格 同窓会々員および会員の知人

以上の様に予定しております。

尚、講習会の終了した翌日にダンスパーティーがあります。詳しくお問い合わせをなさりたい方は、

豊島区上池袋三―三九―二六 鈴木武臣

TEL（九一六）〇六四三

楽しく且つ健康にもいいのです。

ダンスなどできないという方が、かなり居ると思いますが、誰でも最初からできるという人は、ひとりとしていないのです。ですからダンスを経験した事の無い方は、是非、私たちダンス部の主催する講習会に参加してみたいかがでしょうか。

講習会の内容は、男性も女性も和気あいあいといったムードでも楽しく行っています。さあ、今春の講習会に参加してみませんか。



②校友のデモンストレーション

弔 辞

でありました。

戦後はしばしば学級担任として学級経営の妙を発揮され、四十年からは学年主任として見事なリーダーぶりをお示しになりました。

謹んで亡き長谷川次郎先生の御霊前に申上ります。人生無常とは申しながら、今、先生の訃報に接し、あまりの無常迅速さに現実とも思えず、ただ夢見る思いであります。天はなぜ先生にもうしばらくの時を与えてはくれなかったのでしょうか。死というきびしい現実を前にして、その苛酷さにひしがれる思いがします。

先生は昭和十七年四月、大学を卒業されるとすぐ、現文京高校、当時の第三東京市立中学校にうら若い青年教師として着任されました。爾来三十余年、その生涯のすべてを一筋に本校の教育のために捧げられたのであります。戦争中空爆下にあった本校は、場所こそ現在と変らぬものの、養老院の建物を利用して仮校舎で、あらゆる面で不備不足でありましたが、若い情熱に燃える先生は、そんなことから、本校物理教育の芽を育てていかれたの

また、戦後はひき続き理科主任として本校理科教育の基礎を確立されたのであります。先生の熱心、几帳面で、事に当って果断、そして火をふく桜島の情熱を内に秘めた人となり、生徒一同のひとしく欣慕するところであり、また、同僚一同の敬愛してやまないところでありました。

先生の御活躍はひとり学校内ばかりでなく広範囲にわたり、昭和四十三年には、その倦むことのない多年の貢献を認められて、日本理化学協会より功労者として表彰されました。また、ここ数年間は東京都理化教育研究会の第四支部長として御活躍になり、さらに五十年度には同研究会の事務局長として縦横の手腕をふるわれたのであります。そのほか、この十数年にわたり読売科学賞の審査員としても貢献されたのであります。

五十年十二月、不幸病におかされて三樂病

院に御入院になり、以来病勢は一進一退をくり返して、教職員・生徒一同心からその御回復を祈っていたのでありますが、本年六月再入院以来、病勢とみに悪化して再び立つことをえず、ついに五十九歳を一期として不帰黄

泉の客となられました。こういう事態を迎えようとはだれが考えたでしょう。全く思いもかけないことで、ご遺族の方々のご悲嘆もさぞやと察せられ、痛恨の極みであります。先生は今や幽明境を異にして、再びその温情に接することはできませんが、その業績と情熱は広く文京高校関係者の心の奥に生きつづけることでしょう。

その生涯を教育の道に捧げ尽くして天に召された先生の清らかなみ霊よ、庶幾くは安らかに眠れ。

昭和五十一年十月十五日

東京都立文京高等学校校長

荻島 郁太郎

昭和49年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和49.4.1~50.3.31の間の会計は次の通り
になります。

昭和50年3月31日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上、正確であることを認証します。
会計監査 祝田 雅美
" 渡部 曜

1. 財産目録 (50.3.31)

イ 貸付信託 (基本財産) 4,990,000円
ロ 現金 980,393円
ハ 物品 ①両開き書庫1、
②書類入れ1、③手提金庫1、④机2、
⑤いす1、⑥ファイル1、⑦ストープ1
ニ 郵便口座 55,890円
ホ 奨学基金 210,349円
ヘ 会館建設基金 403,162円

2. 現金

① 収入 2,651,893円
繰越し 801,762
会費(3,500×408) 1,428,000
利子・配当 355,186
名簿代 24,000
その他 42,945

② 支出 1,671,500円
① 経常費 1,171,500
内 { 各部・会計 35,000
名簿(500円) 576,000
紫 筍(23×9,000) 207,000
" 切手(25×7,920) 198,000
総務行事費 25,060
人件費 40,000
運営費 53,000
交通・通信費 27,440
慶弔費(飯塚先生、川上氏) 10,000
② 貸付信託 500,000

③ 繰越し 980,393円

昭和50年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和50.4.1~51.4.22の間の会計は次の通り
になります。

昭和51年4月22日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上、正確であることを認証します。
会計監査 高橋 努
" 渡部 曜

1. 財産目録 (51.4.22)

イ 貸付信託 (基本財産) 5,790,000円
ロ 現金 1,436,247円
ハ 物品 ①両開き書庫1、
②書類入れ1、③手提金庫1、④机2、
⑤いす1、⑥ファイル1、⑦ストープ1
ニ 郵便口座 55,890円
ホ 奨学基金 436,329円
ヘ 会館建設基金 449,897円

2. 現金

① 収入 3,171,952円
繰越し 980,393
会費(4,000×408) 1,632,000
利子・配当 416,472
名簿代(含送料 200) 78,200
その他 64,887

② 支出 1,735,705円
① 経常費 735,705
内 { 各部・会計 35,000
名簿(600円) 624,000
運営費 51,420
交通・通信費 25,285
② 貸付信託 800,000
奨学基金 200,000

③ 繰越し 1,436,247円

卒業生進路状況

1. 進 学 (1951年3月卒(現役))

学 校 名	人 数	学 校 名	人 数	学 校 名	人 数
(国公立・4年)	() 女子	千 葉 工 業 大 学	1	(短大・私立・2年)	
筑波大 学	2	浦 工 業 大 学	2	女 子 美 術 短 大	(1)
京 商 船 大 学	1	東 洋 大 学	3	山 脇 短 大	(2)
東 京 学 芸 大 学	1	日 本 正 大 学	14 (8)	跡 見 短 大	1
小 計		立 本 大 学	(1)	日 本 女 子 体 育 短 大	1
(私立・4年)		東 京 薬 科 大 学	1	東 京 成 徳 短 大	(2)
青 山 学 院 大 学	5 (3)	駒 沢 大 学	(3)	聖 学 院 女 子 短 大	(1)
里 大 学	(2)	城 西 大 学	1	鶴 見 女 子 短 大	(1)
共 立 女 子 大 学	(2)	和 光 大 学	(1)	日 本 女 子 短 大	(1)
北 応 大 学	1	成 蹊 大 学	1	東 京 経 済 短 大	(3)
国 際 商 科 大 学	(1)	武 蔵 野 音 楽 大 学	(2)	東 邦 音 楽 短 大	(1)
昭 和 女 子 大 学	(1)	武 蔵 野 美 術 大 学	(1)	杏 林 短 大	(1)
多 摩 美 術 大 学	(1)	東 京 家 政 大 学	(2)	日 本 経 済 短 大	(1)
拓 殖 大 学	1	実 践 女 子 大 学	(1)	東 京 女 子 体 育 短 大	(1)
中 津 田 塾 大 学	3 (1)	日 本 女 子 体 育 大 学	(2)	名 古 屋 榮 養 短 大	(1)
東 京 音 楽 大 学	5 (1)	専 修 大 学	1	目 白 学 園 短 大	(1)
独 協 大 学	(2)	跡 見 女 子 大 学	(1)	富 士 短 大	(1)
東 京 理 科 大 学	1	聖 学 院 女 子 大 学	(1)	星 野 学 園 短 大	(1)
松 本 学 舎 大 学	(1)	白 百合 女 子 大 学	(2)	小 計	(26)
星 本 薬 科 大 学	(1)	関 西 大 学	1	[各 種 学 校]	
明 治 学 院 大 学	(2)	早 稲 田 大 学	1	Y M C A 学 院	(1)
明 治 星 大 学	5 (2)	文 化 女 子 大 学	(1)	埼 玉 中 央 病 院 看 護 学 校	(1)
立 正 女 子 大 学	(3)	法 国 政 治 学 院 大 学	1	日 本 書 道 専 門 学 校	3
川 学 園 大 学	(1)	法 国 土 産 館 大 学	(1)	お 茶 ノ 水 タ イ ス ト	(1)
		女 子 美 術 大 学	(2)	千 代 田 ビ ジ ネ ス	(1)
		小 計	96 (60)	Y M C A	1
				長 生 学 園	1
				小 計	9 (6)
				合 計	1 (1)

(2)50年以前の卒業生

学 校 名	人 数	学 校 名	人 数	学 校 名	人 数
(国公立・4年)		明 治 大 学	3	学 習 院 大 学	2
信 州 大 学	1	成 蹊 大 学	2	垂 細 垂 大 学	(1)
都 立 大 学	1	専 修 大 学	(1)	東 邦 大 学	1
小 計	2	中 央 大 学	6	明 治 薬 科 大 学	(1)
(私立・4年)		拓 殖 大 学	2	小 計	94 (9)
桜 美 林 大 学	(1)	東 京 薬 科 大 学	1	(短大・私立)	
工 業 学 院 大 学	2	東 京 電 機 大 学	3	共 立 女 子 短 大	(1)
慶 応 大 学	3	東 京 医 科 大 学	3	跡 見 女 子 短 大	(1)
東 洋 大 学	3	東 京 海 大 学	4	武 蔵 野 美 術 短 大	(1)
東 京 理 科 大 学	7	芝 浦 工 業 大 学	1	目 白 学 園 短 大	(1)
東 京 経 済 大 学	3	立 山 学 院 大 学	2	東 洋 短 大	(1)
千 葉 工 業 大 学	1	青 立 教 大 学	1	小 計	(5)
日 本 体 育 大 学	(1)	立 成 城 大 学	1	[各 種 学 校]	
日 本 女 子 大 学	15 (1)	昭 和 薬 科 大 学	(1)	ロ グ ス 英 語 学 院	(1)
日 本 薬 科 大 学	(1)	昭 和 協 大 学	1	東 京 観 光 専 門 学 院	1
法 政 大 学	6	明 治 学 院 大 学	(1)	東 京 歯 科 工 学 院	1
星 大 学	2	立 正 大 学	1	小 計	3 (1)
		早 稲 田 大 学	2	合 計	

表紙の言葉にかえて

28期A 渡辺裕之

二年前まで、絵は生活の一部分でしかありませんでした。そのころはただ描くことが好きで楽しかったのです。描く対象が自分の手によって第三の価値を生じていく時、私は夢中でした。純粹に個人に還り、対象との語りの中で自分と対象がだんだん近づいていくのを認識していました。

そして現在浪人一年目の私は、幸せなのです”と言いきれる自信が時々失われます。それは、私のビジョンが魅力的にふくらむ一方、実際の私は私を失いそうになる時があるからです。生活は制作であり制作は生活であるべき生活が、ある作用によって乱れる。そんな時制作した作品は色（個人）を失い、第三者は見むきもなくなり、私は不幸になります。

それでも、時には幸せに出会います。それは別な世界との語らい。演劇、映画、音楽、詩、彼らは様々な人生、様々な考え方を示すと同時に、巧みに私を変身させ、不幸から救いあげてくれるのです。ビジョンを一つに定めることは可能性を無視することになり、マルチ・ビジョンを有することは器用貧乏と呼ばれ、この二重苦の間に生活、制作、そして今の私が存在しているのです。

編集後記

一つのものを作りあげるのは、とても苦勞するものですが、苦勞が大きければ大きいほど出来あがった時の喜びは大きいものです。

山下祐嗣 25—B

今、この紫筍の編集を終えて、自分達で作った会報が文京の歴史の一ページとしてつづられることを嬉しく思います。

武井祥司 28—C

会えなかったことが、今でも心残りです。受験生にとってはかなり厳しい作業でしたが、ひとつの貴重な体験になりました。

森 幸治 28—A

忙しかったけれど、知ることも多くて、いろいろと勉強になりました。今回の会報はいかがでしたか？

石川葉子 28—C

様々な人間が様々な生き方をし、様々なつながりを持っています。この「紫筍」も、そ

んな、小さなよりどころになれたらいいんですけど。
橋本佳美 28—A

最後に、取材その他資料提供などに快く御協力していただいた諸先輩、諸先生方、本当にありがとうございました。

退職された先生方

50年度

大谷 京子先生（国語）

51年度

横山 正明先生（数学）

文京高校同窓会報

紫 筍 〈第19号〉

昭和51年11月25日

発行 文京高校同窓会

編集者 山下 祐嗣・武井 祥司
森 幸治・石川 葉子

橋本 佳美

印刷 シ ミ ス 印刷

電話 (821) 1 6 3 5

<p>婦人科渡辺クリニック</p> <p>一A 渡辺 邦緒</p> <p>青山通り富士銀行ソバ ☎403-3777(自)719-1778</p>	<p>静谷歯科医院 (歯科一般)</p> <p>七D 静谷 栄夫</p> <p>170 豊島区西巢鴨3-8-15 ☎915-0072</p>	<p>静谷クリニック (内科)</p> <p>四B 静谷 晴夫</p> <p>170 豊島区西巢鴨4-6-2 ☎ 910-1136</p>
<p>印刷全般、KK祥文社</p> <p>一A 大山 和男</p> <p>国電、千代田線 西日暮里駅前 ☎ 801-2201</p>	<p>出光ガソリンスタンド 自動車販売整備 飯田橋・神保町</p> <p>一B 末 正明</p> <p>112 文京区後楽2-6-1 ☎261-5111(自)811-0755</p>	<p>株栗原製作所 (各種ディスプレイ企画製造)</p> <p>一B 栗原 正昭</p> <p>111 台東区元浅草4-5-5 ☎ 841-2515(代)</p>
<p>高松診療所</p> <p>一B 野久保泰徳</p> <p>190 立川市高松町 2-2-24 ☎0425-22-7725</p>	<p>同仁産婦人科 (池上線石川台駅前)</p> <p>一B 野村総一郎</p> <p>145 大田区東雪谷 2-24-8 ☎ 720-1077.727-255</p>	<p>銀座菊地病院 (副院長、内科部長)</p> <p>二A 湖山 聖道</p> <p>104 中央区銀座 7-13-15 (勤)541-1151(自)956-3311</p>
<p>日比谷整形外科</p> <p>一C 山中 秀男</p> <p>銀座電通どーり ☎571-2045(自)714-951818</p>	<p>ヨシヒデ金属KK代表取締役 (非鉄金属材料の販売 金属材料コンサルタント)</p> <p>一A 郡司 良典</p> <p>180-03 東久留米市小山 1-17-3 ☎ 0424-71-4415</p>	<p>渡辺歯科医院</p> <p>一A 渡辺 敏雄</p> <p>160 新宿区東大久保 2-212 ☎ 203-3952</p>
<p>弁護士</p> <p>一A 渡辺 剛彰</p> <p>113 文京区西片 2-12-23 ☎ 814-1984</p>	<p>KK 宇商 (装飾家具製造)</p> <p>一B 高梨 均</p> <p>106 港区麻布十番1-7 (自)401-8813(会)413-9111</p>	<p>勝山歯科医院</p> <p>一A 勝山 和夫</p> <p>墨田区太平3-14-5 ☎623-6952(自)659-5675</p>
<p>豊北整形外科 (神経痛、骨折)</p> <p>一A 鈴木 勲</p> <p>西武練馬駅・安田生命ウラ ☎991-8424</p>	<p>八洲印刷KK</p> <p>一B 川上 光男</p> <p>114 北区王子本町 2-11-6 ☎909-3211(自)815-2839</p>	<p>池袋大久保病院 (内科・胃腸科) 院長</p> <p>二B 大久保 宏</p> <p>170 豊島区西池袋1-43-5 ☎ 987-3785-7</p>
<p>弁護士</p> <p>二D 原田 策司</p> <p>中央区銀座7-5-4 毛利ビル4階 ☎571-1780(代) 自宅 大田区上池台3-30-1</p>	<p>喫茶室 ポギー パレスサイドビル地下</p> <p>三D 安田 多苗</p> <p>☎ 211-6833 自宅 横須賀市三原町4-55</p>	<p>会報発行に 協賛いたします</p> <p>(次号の協賛会費五千元 のお申込みは同窓会へ)</p>